

第 107 回 FM 桐生番組審議会 議事録

- 1.開催年月日 令和 6 年 7 月 1 日 月曜日
- 2.開催場所 FM 桐生 3 階会議室（桐生市本町 5 丁目 365-1）
- 3.委員総数 8 名
出席委員数 5 名
出席委員の氏名 板橋英之、岡野紀子、小泉充、中村昌也、飯野マリエ
欠席委員の氏名 大澤善康、星野麻実、豊田れい子
放送事業者側出席者名 坂田道信、天路ひとみ

4.議題（1）聴取番組について委員からの意見と提案

5.議事の概要

開会

挨拶

資料配布物の確認

次第・次回聴取番組 CD 『グンキャリラジオ！』（令和 6 年 6 月 28 日（金）放送分）

報告事項

- ・新型コロナウイルス感染症の動向など
- ・7 月から改編の番組説明

次回開催日程 令和 6 年 9 月 10 日（火） 19 時～

6.審議内容

- ・放送日時：令和 6 年 5 月 2 日（木）14 時 15 分～14 時 29 分
- ・番組名：『ことのはダイアログ』
- ・放送形態：生放送
- ・番組内容：ゲストとわたしたちが、ココロの言葉を大切にしながら、グリーフについて発信していきます。
グリーフは日本語では「悲嘆」といいます。
広い意味では「その人にとって大切なものを失くすこと」です。
- ・出演者：グリーフケア・ネットワークぐんま『ことのは』 柏瀬眞美・栗田久美
ゲスト：長野原町へき地診療所 金子 稔 所長

（1）聴取番組について、委員からの意見

【委員】

- ・ MC の柏瀬さんの母親目線のコメントや質問が多く、共感する方も多いと思った。
慣れていない感じはしたが、聞き取りやすかった。
- ・ 長野原僻地診療所の金子さんは滑舌がよく、聞き取りやすいスピード、
説明も的確だったので興味深く聞く事ができた。
- ・ 心の言葉を大切にしている、人に寄り添った番組と感じた。誰に対しても聞きやすい番組。
- ・ ラジオを聞いている側がある程度どんなふうに反応するか、想定しながら話す方が良い。
- ・ 「よろしく願いしま〜す」と、語尾を伸ばした話し方に違和感を覚えた。
2回とも同じように伸ばしていた。
- ・ 番組の内容的にラフな感じがしないので、話し方や相槌などは気をつけた方が良い。
- ・ 「言葉を失いますね。」と言った後ラジオなのに本当に言葉を失って言葉が出てこなかった。
ラジオは言葉で表現するので、MC が絶句してはしてはならないのでは。
- ・ 先生が一人で話すだけではなく、言葉のキャッチボールができると良い。
聞き取り側が話をきちんと聞いていない印象を受けた。
- ・ 慣れていないのか、準備が足りなかったのか、せっかく良いテーマの番組なので勿体ない。
- ・ 最初に話した方の声がこもっていて聞きづらかった。
先生の声は落ち着いていて聞きやすかった。
- ・ バラエティの番組ではなく、しっかりした内容の番組だと思うので、
もう少し会話のやり取りをした方が良いのではないかと。
会話のキャッチボールができていない。
- ・ 内容的には大切なものなので、仕込みはしっかりとした方が良い。
- ・ くりくみさんの声が遠く感じた。
- ・ 先生の話が内容が良く、とても分かりやすかったので、聞き手がもう少ししっかり聞けるとよかった。

【回答】

- ・ 今期の番組表ピックアップ欄にも情報を掲載しています。
- ・ MC はグリーンケアアドバイザー資格所有者で、身近な方を亡くした体験も持っている。
- ・ 今回は、ゲストの都合でディレクター不在のリモート収録だった。
編集作業の後に「ラジオで絶句は NG」や「返す言葉の準備」が必要なことを伝えた。
ボキャブラリーを増やす努力もする様に伝えている。
- ・ 現在、その反省も踏まえスタジオ収録をしているが、内容は改善されて来ている。
- ・ リモート収録だったので、通信環境によるタイミングのズレがあったかも知れない。
- ・ この番組に限らず、ラジオは言葉でしっかりすることが大切。

【その他】

- ・ 桐生八木節まつり特番の準備中。
- ・ 番組出演者の「どんぐりず」がまつり期間中の無料音楽イベント開催に向け、
クラウドファンディングを開始。 地元を盛り上げたい、貢献したいという主旨に賛同。

- ・群馬のローカルヒーロー G FIVE が 20 周年。
- ・末広町歩行者天国の開催日決定：令和 6 年 10 月 6 日（日）

7.審議機関の答申又は意見の概要の公表

公表の方法 自社番組内での紹介、事務所への備置き、
自社ホームページ <http://www.fmkiryu.jp/>へ掲載

公表の内容 この書類と同様

公表年月日 送付日と同日

8.その他参考事項 特になし